

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市中部身体障害者福祉会館	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人 川崎市身体障害者協会 ・代表者名 理事長 中込 義昌 ・住所 川崎市川崎区大島1-8-6	評価者	障害福祉課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課

2. 事業実績

利用実績	〔講習会・ボランティア育成事業〕 ・手話入門(昼):全5回 38名 ・朗読入門(昼)①:中止 ・朗読入門(昼)②:全4回 43名 ・手話入門(夜1):全6回 78名 ・パソコン相談会:全11回 4名 ・手話入門(夜2):全6回 52名 ・福祉講座:全1回 25名 ・パッチワーク:全3回 39名 ・親子手話教室:全4回 52名 〔作業室〕 ・在籍数:生活介護 17名(前年比増減なし) 就労継続支援B型 6名(前年比1名増)																																											
収支実績	<table border="1"> <tr><th colspan="2">身障会館 (円)</th></tr> <tr><td>収入</td><td>20,717,922</td></tr> <tr><td>委託料他</td><td>20,617,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td>100,922</td></tr> <tr><td>支出</td><td>23,578,799</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>18,232,360</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>1,164,382</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>314,493</td></tr> <tr><td>施設管理費</td><td>3,867,564</td></tr> <tr><td>差額</td><td>▲2,860,877</td></tr> </table>	身障会館 (円)		収入	20,717,922	委託料他	20,617,000	その他	100,922	支出	23,578,799	人件費	18,232,360	事務費	1,164,382	事業費	314,493	施設管理費	3,867,564	差額	▲2,860,877	<table border="1"> <tr><th colspan="2">障害者福祉サービス (円)</th></tr> <tr><td>収入</td><td>47,450,121</td></tr> <tr><td>利用料他</td><td>46,073,870</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,376,251</td></tr> <tr><td>支出</td><td>41,914,497</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>31,754,323</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>4,158,044</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>4,324,087</td></tr> <tr><td>施設管理費</td><td>637,878</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,040,165</td></tr> <tr><td>差額</td><td>5,535,624</td></tr> </table>	障害者福祉サービス (円)		収入	47,450,121	利用料他	46,073,870	その他	1,376,251	支出	41,914,497	人件費	31,754,323	事務費	4,158,044	事業費	4,324,087	施設管理費	637,878	その他	1,040,165	差額	5,535,624
身障会館 (円)																																												
収入	20,717,922																																											
委託料他	20,617,000																																											
その他	100,922																																											
支出	23,578,799																																											
人件費	18,232,360																																											
事務費	1,164,382																																											
事業費	314,493																																											
施設管理費	3,867,564																																											
差額	▲2,860,877																																											
障害者福祉サービス (円)																																												
収入	47,450,121																																											
利用料他	46,073,870																																											
その他	1,376,251																																											
支出	41,914,497																																											
人件費	31,754,323																																											
事務費	4,158,044																																											
事業費	4,324,087																																											
施設管理費	637,878																																											
その他	1,040,165																																											
差額	5,535,624																																											
サービス向上の取組	・会館では、利用者意見の反映のため、会館では利用団体懇談会を開催し、設備に対する要望に対応するなど、意見反映を積極的に行っている。作業室では、朝礼にて利用者が司会を行う等、能力向上への取り組みを行うとともに、自主製品について新商品の開発を取り組み、作業内容の選択肢を増やすよう努め、第三者評価の結果を踏まえて、サービス向上に取り組んでいる。																																											

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・会館では、若い世代からのニーズが高い講習会を開催することができた。また、会館利用についても、新規団体の登録があるなど、地域活動を促進できるよう、取り組みを行っている。 ・作業室では、利用者の高齢化・重度化に対応するため、看護師を毎日配置し、状況確認を行うことで健康管理に配慮した支援を行っている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・全体として良好な収支状況である。必要に応じ税理士法人から助言を受け、適正な会計処理を執行している。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・会館では、講習会修了者に対して、福祉サークル等の情報提供など、きめ細やかに支援するなど、サポートも手厚く行っている。 ・利用者意見を反映するため、会館では利用団体懇談会を開催し、備品等への要望に対応するなど、意見反映を行っている。 ・作業室では、工賃向上が課題とした第三者評価の結果を踏まえ、新たな作業の受注とともに、自主製品の開発を行い、サービス向上に取り組んでいる。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 積極的に外部研修を受講しており、受講した職員が伝達研修を行い、事業所内で情報の共有を図り、スキルアップに寄与した。 非常災害に備えた取り組みとして、防災訓練・避難訓練を2月に1回行い、非常災害対策の強化を図った。また、安心安全の取り組みとして、防犯対策・不審者対応訓練研修を行い、資質向上を図った。 緊急連絡網を整備しており、緊急連絡体制の確認・コンプライアンスの遵守について、月1回の職員会議等にて確認を行っている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 安全な利用に支障をきたすことのないよう、毎日チェック表により施設設備の点検を実施している。 利用者からの要望に対応するとともに、利用者の利便性向上及びサービス提供の向上のため、指定管理者の負担で静養室を改修・拡張工事を行った。 					

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・作業室では、工賃向上が課題とした第三者評価の結果を踏まえ、新たな作業の受注とともに、自主製品の新品開発を行い、サービス向上に取り組んでいる点は評価できる。
・非常災害に備えた取り組みとして、防災訓練・避難訓練を2月に1回行い、非常災害対策の強化を図ったこと、また、安心安全の取り組みとして、防犯対策・不審者対応訓練研修を行い、資質向上を図ったことは評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・来年度以降も引き続き、各事業において質の高いサービスを提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。